ゆった～り山行実施記録表　　2018年4月16日　報告者:Y.S

山行名	奥武蔵　官ノ倉山　〔344m/埼玉県〕
実施日	平成３０年４月１４日（土）　日帰り　公共交通機関利用
天候／参加人員	天候:曇　レベル:★☆　参加人員:16名（申込み16名）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	省略
参加メンバー	省略
費用　一人当たり ２，９００円 （本厚木起点）	**【内訳】** 本厚木～新宿:494×2＝988円、新宿～池袋:154×2＝308円、池袋～東武竹沢:802円、 小川町～池袋:802円、　**合計＝2，900円**

歩行/行動時間

	歩行時間	休憩時間など	行動時間	
ガイドブック	3:10			行動時間比(実行／計画) 歩行時間比(実行／計画)
計画	3:35	1:35	5:05	
実行	3:55	1:10	5:05	

実行コースタイム記録

4月14日（土）　天候（曇）　東武東上線　35　10　25　15

本厚木===== 新宿 ===== 池袋 ===== 東武竹沢 ----- 三光神社 ・・・・・ 天王池 ・・・・・ 官ノ倉峠 ----- 官ノ倉山山頂

6:35　7:28　7:37　7:46　8:00　9:13　9:30　10:05　10:15　10:40　10:45　11:00(昼食)11:45

10　35　10　1.35　東武東上線　JR 山手線　小田急線

・・・・・・ 石尊山 ・・・・・・・ 北向不動 ・・・・・ 下山口ﾄｲﾚ ----- 小川町駅 ===== 池袋 ===== 新宿 ===== 本厚木

11:55　12:00　12:35　12:45　12:55　13:00　14:35　14:53　16:02　16:15　16:24　16:43　17:37

コースの概要、特記事項、反省事項等

天気予報では土日は雨、しかも降水確率７５％、心の中では中止と諦めていた、しかし水曜日の夜になって降水確率は昼間は３０％となり、ＳＬと相談して午後３時までは降らないとの結論で実施となった。

官ノ倉山は２０数年前に来たきりで、街歩きの印象しか残っていない。山の印象は全く記憶にない。東武竹沢駅に定刻通り到着、車の４名と合流、ﾄｲﾚと体操し地下道を抜けて道路へ出ると道標があり、右からも左からも行けると書いてある、こうゆうのが一番困る、決断できない人はここで一日考えてしまうかもしれない。古い道標には左に矢印がありそれに従って歩き出す。人気のない集落の庭先の花を愛でながら、途中でのびるを採りながら歩いた。のびるはちぢみにすると美味しいらしい（？）、冗談を言いながら歩き登山口の三光神社に到着、ここは武蔵七党児玉氏の一族竹沢氏ゆかりの神社であるらしい、ちなみに官ノ倉山は、左の石尊山との双耳峰で「官ノ倉の石尊様」として崇拝され、神を祭る岩山「神ノ倉」又は双耳峰が馬の鞍に見立て、「神ノ鞍」から「官ノ倉山」になったようだが定かではない。

里山とはいえここに登山届けを入れるポストが設置されている。無視するにはＴＴＣとしてはずかしいので用意してきた登山届をうやうやしく提出して登山開始。森林地帯を歩き稜線に出た所が官ノ倉峠、ここで小休憩。ここから岩のごろごろした道を１５分登ると官ノ倉山頂で、我々が到着すると一組のアベックが食事していたので、お騒がせしますと一応挨拶して昼食とした。静かな山と思っていたら後から続々登山客が到着して山頂は大にぎわい。風も無く、薄日も差して穏やかな山頂である。昼食の後、Ｈ・Ｍさんが大きい蟻に刺されかなり痛いと訴えてきた、見ると脛に２ヶ所刺されて赤く腫れている。救急袋から、蜂刺され時の吸引器で毒を吸取るとだいぶ楽になったようだ。誰かがこれは「ヒアリハット」だと言って笑う。山頂からわずかで石尊山に着く。ここの祠に大山阿夫利神社のお札があり、大山との繋がりを感じさせて親近感を増してくれる。

石尊山からの下りで唯一の難所？の鎖場に大きな看板があり、「クサリは一人ずつ降りましょう」と書いてある、ここはファミリーコースなので子供達も沢山来るので、このような注意書きがあるのであろう。岩がゴツゴツした急坂なので、慣れている我々もクサリに頼る人はいなかったが注意して歩く場所であった。

北向不動尊は登山道の右斜面に石を積み上げた急な階段を登った所にあった。せっかくなのでみんなで上がり、今日の無事を感謝しぶら下がっている鰐口を備え付けのハンマーで叩き、あまり良い音がしないなとぶつぶつ「仏々」言いながら手を合わせた。下山口からは集落の中をお庭の芝桜や八重桜を見ながら駅へ向う。

途中小川町酒造祭りをやっているとの情報で期待したが、無料の試飲はなく少しがっかりして駅へ向った。今日一日雨も降らず、のんびり里山歩きが出来たことに感謝。みなさんありがとうございました。